

# 私が仕入れたドレスで、 演奏家を映えさせたい!

ドレスの輸入と販売、そして音楽会の企画・制作というまったく違う2つの仕事、1つの世界に結びついていったのは、なぜなのでしょう?

文: 辻由美子



演奏会の企画や制作は、多くの人のつながりで実現する。一演奏家では味わえない難しさや、喜びがある。

## 2つの職種

- ★演奏企画・制作業
- ★輸入ドレス販売業

尾身直子さん(44歳)



アメリカで買い付けるドレスは、韵味を重ねて選ぶ。気に入ったメーカーが見つかれば契約を結ぶことも。

## 衣

装部屋の扉を開けると、100着以上のきらびやかなドレスがズラリと並んでいた。

「きれいでしょう? ドレスを着せてあげると女性はみんな可愛くなるの。まるで魔法みたい」

尾身さんもそんな魔法に魅せられた女性のひとりだった。今から4年前……尾身さんは傷心のただ中であつた。

「実は離婚をして、心身ともにス

タスタになっていました」

音大を卒業後、ピアノリストとして演奏活動を続けるかたわら、演奏家をコーディネートしてパーティーなどに派遣する音楽事務所を運営していた尾身さん。しかし再びシングルになった不安や心労が重なり、しばらくはピアノを弾くことができなくなるほど落ち込んでしまったという。

「そんなとき、友人がアメリカのサンディエゴに引っ越したんです。気分転換をかねて遊びに行くと、そこで見つけたのが手頃な価格のドレス。ストレス解消で何着も買ってしまった」

もともとドレスは大好き。ドレスを着ると、尾身さんのこわばった心も癒されていくようだった。

コンサートでドレスを着ることもあって、尾身さんはアメリカに行くたびにドレスをまとめ買いするようになった。

「そのうち、アメリカの友達と『何かビジネスにできないかな』という話になって、共同で30〜40枚のドレスを新たに仕入れて、インターネットでホームページを作って販売することにしました」

## 私のドレスが 音楽家に支持された!

当初はホームページへのアクセス数も1日1件あればいいほう。しかし音楽事務所のとてをたどって、音楽関係者や音大にチラシを配ったり、ホームページにリンクをはったりするうちに、少しずつ

お客さんが増えていったという。今ではアクセス数は1日300件、売り上げも月15〜20着に達し、年2〜3回はアメリカまで買い付けに行くほどまで成長した。

予想外だったのはお客さんのほとんどが音楽家だったということ。「考えてみれば、ミュージシャンや演奏家にとつてドレスは仕事の必需品ですから。デザインやシルエットを重視して、吟味を重ねて仕入れた私のドレスが、演奏会の衣装としても受け入れられたことは、嬉しかったですね」

そして尾身さんがドレスの仕事始めたことで、音楽の仕事のほうにも思わぬ波及効果が出てきた。「もともと音楽の仕事は、ピアノの演奏活動やピアノ教室の仕事が



「音楽とドレスに共通するのは「癒しの力」なのかもしれません」と尾身さん。尾身さんのドレス販売(ナオベルコレクション)のHPは<http://www.nb-colle.com/>

広がっていった。音楽事務所の形になったんですが、内実はいろいろな演奏家を招いて、ミニコンサートを開いたり、ブライダルやパーティーに演奏家を派遣するといった仕事がおもでした。ところがドレスを販売するようになって、それがコンサートや舞台をプロデュースする形に広がっていききました」

たとえばコンサート会場の照明や背景に合わせて、ドレスをアド

バイスするついでに、舞台の制作や演出の相談も引き受けてしまうという具合だ。

「ドレスは照明によって色が変わってしまうことがあるんです。ですから私が事前に会場に行って、チェックして来ることもあります。この照明にはこんなドレス、この楽器ならこのドレスといったアドバイスをしているうちに、ステージをつくるための実践的な提案ができるようになってきました」

### 魅力ある演奏家を 育てていきたい!

尾身さん自身が音楽家なので、現場を知っているのが何とていっても強みである。

「それにドレスを買いにきたお客

さんの中からいい演奏家をスカウトして、ブライダルなどに派遣することもできるので、音楽事務所の仕事にもプラスになっていきますね」

まさに2つの仕事から相乗効果が生まれているのだ。今、尾身さんには大きな夢がある。それは洗練された演奏家を育てるための養成機関をつくるということだ。

「着しなし、メイク、トーク、演出などステージ上で自分をアピールする方法を教えたいですね」

もうひとつはドレスの直営店を開くこと。現在は自宅を兼ねる事務所で試着してもらっているが、ゆくゆくは、ゆったりしたスペースで楽しみなからドレスを選べるような店を開きたいと、夢が膨らんでいる。